

令和4年度 直方市施政方針

新型コロナウイルスというパンデミックにより、この2年間で社会経済環境が大きく様変わりしました。これからも、このウイルスが日常から消えることはなく、私たちはwithコロナの時代を生きていかななくてはなりません。

引き続き福岡県や医師会等と連携・協力して市民生活を守り、地域経済が回復するよう経済対策を行ってまいります。

また、昨年より進めているDXへの取り組みをさらに加速させ、市民サービスのみならず、行政事務の生産性向上やデータに基づく政策立案も進めて、ニューノーマルの時代に対応した施策を展開します。

直方市長 大塚進弘

主要施策 ご紹介

「まちを豊かに」

- **IT事業者と地元企業との共同事業を推進**
誘致したIT事業者が直方市に定着していただけるよう、また、地域の課題解決や産業の活性化に取り組んでいただけるよう対応していきます。
- **地域子育て支援センターの移転へ向けた取り組み**
リノベーションによる中心市街地への移転を進め、令和5年4月のオープンを目指します。
- **保健福祉センター実施設計に着手**
令和4年度中に実施設計に着手し、着実な進捗を図ります。
- **筑豊電気鉄道延伸の検討**
公共交通のあり方やまちづくりと一体化し、検討を進めます。
- **天神橋架け替えの早期事業化および
境口鴨生田線工事の事業促進**
福岡県と協力し、着実に事業の進捗を図ります。
- **防災・減災に向けた取り組み**
川端川をはじめとする市管理河川のインフラ整備を進めていきます。
- **脱炭素社会の実現に向けた取り組み**
市民の皆さん、企業、学校とともに脱炭素への取り組みを進めていきます。

「人に夢を」

- **中学校給食の全員喫食**

令和4年度2学期から食缶方式での学校給食を実施します。

- **ICT教育の継続的な推進**

感染症拡大状況下でも、オンライン等により継続的な教育を行います。

- **小中学校規模適正化の検討**

子どもたちの教育に適した学校規模となるよう検討を進めます。

- **ハード、ソフト両面での保育環境整備と保育士の確保**

乳幼児期の子どもの成長にふさわしい保育環境整備を行い、保育の質の向上を推進します。さらに保育士の確保に努め、待機児童の解消を図ります。

- **健康寿命延伸に向けた取り組み強化と**

- **企業の健康経営事業の推進**

フレイル予防等の取り組みを強化するとともに、企業の健康経営への取り組みを推進し、働く時代からの健康づくりを支援します。

「産業に活力を」

- **産業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進**

社会環境の変化に対応し、競争優位性を確立する企業の取り組みを支援します。

- **植木地区の産業団地開発の推進**

国が進めるデータセンターの候補地として、鞍手町にかけての一带を福岡県が整備していくことが決まっています。県、鞍手町と一体となって事業を推進していきます。

- **外国人技能実習生の支援**

外国人労働者が地域社会の一員として融和できるよう支援協議会を設置し、日本語教室の開設等により外国人との共生社会の実現を目指します。

- **観光基本計画に基づいた事業の推進**

計画に沿った観光事業を実施するとともに、「直方市の存在感」を高めるため、情報発信等シティプロモーションに力を注ぎます。

- **スマート農業の推進**

関係機関と連携をとり、IT技術等を導入しようとする農業者への支援を行います。